

9/14 月刊創刊！
日本初“60代ファッション雑誌”

宝島社

2019年7月31日

『素敵なあの人』通信 vol.1 編集長インタビュー“新しい60代”とは

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発売した『素敵なあの人夏号』は、**約5万部を突破する見込み**です。同誌は、**今年の9月14日に新しい60代女性市場に向け、日本初の60代ファッション誌として月刊創刊**します。

同誌はファッションムック(当時タイトル『素敵なあの人大人の服』)として第1号を2017年12月に発売。発売わずか3日で重版し5万部を突破、「グレーヘア」などの社会現象を起こしました。**これまでに40~60代など幅広い年齢層をターゲットにしたカジュアル系ファッション雑誌や健康情報誌などはありませんが、60代向けファッションに特化した雑誌は同誌が初めてとなります。**

宝島社は、2010年以降、30~60代の大人世代に向け『リンネル』『GLOW(グロー)』『大人のおしゃれ手帖』『otona MUSE(オトナミューズ)』『& ROSY(アンド ロージー)』『MonoMaster(モノマスター)』の6誌を創刊し、読者ターゲットの年齢を上げることで、ファッション雑誌の「大人化」を図り、大人市場へ参入。雑誌を創刊することで、常に新しい価値観やライフスタイルを提案するとともに、新市場を創出・開拓してまいりました。今後も雑誌出版のリーディングカンパニーとして、業界を盛り上げていくことに尽力してまいります。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2018年下半年(7~12月)より

最新刊 好調です！



『大人のおしゃれ手帖 8月号増刊
素敵なあの人夏号』
発売日:2019年6月25日
定価:1200円(税込)

従来のシニア像とは異なる！新しい60代とは

- ・若いころ、『anan』『non-no』が創刊され、若者文化を牽引
- ・ニュートラ、ハマトラ等 ファッションの流行を生み出した
- ・ビートルズ来日、ジーンズやミニスカートの流行
- ・お見合い結婚 → 恋愛結婚が主流に
- ・脱ミセス！カジュアルファッションを好む
- ・おしゃれの再燃期！“第二の青春”を楽しむ
- ・素敵な60代は全国各地の“ギャラリー”に集結

次ページで
編集長
インタビュー

一昨年、『美しく暮らす大人のインテリア』を刊行した際に**取材した60代の方々がお洒落で、ここに確実に市場があると実感。同時に60代の女性が読むファッション誌がなかったこと気づき企画したのが『素敵なあの人』**です。“60代からの装い”と表紙に大きく打ち出し、実際に購入いただいたのは半数以上が60代の方で発売から3日で重版、5万部を突破したことは驚きました。実際に、「60代になった今、自分たちのためのファッション誌がなくて困っていた」という声もいただいています。

編集長 神下 敬子(かみした・けいこ) プロフィール

1973年、神奈川県生まれ。商社のアパレル担当、外資系ファンドのコンプライアンスを経験した後、ライター業を開始。ビューティやファッション関連本など様々な媒体に携わる。実用書編集部員を経て2016年宝島社入社。ファッション、インテリア、家事、健康など様々な本を手がける。



編集長が語る！60代女性誌『素敵なおの人』とは

コンセプトは“自然体” 誌面の5割はファッションに

自然体をコンセプトに、誌面の5割はファッションにします。体形の悩みがでてくる60代はこれまで情報が枯渇していたため、リアルな提案ができなければ読者はなかなか自分に落とし込めません。まずは、**実例として世の中に素敵なお60代がいることを見せることが大切**になります。一般の方が登場するページが多いのも特徴で、月刊誌では実例を連載に。また、美容雑誌を経験していない世代のため、美容情報は基本から丁寧に紹介。健康情報も充実させ、その他にお花やお料理、俳句などの連載を予定しています。



今の60代は従来のシニアとは異なる！恋愛結婚、ミニスカート、アンノン族etc.

今の60代はこれまでの60代と全く異なります。婦人誌しかなかった時代に『anan』『nonno』といった女性ファッション誌が創刊。雑誌の誕生とともに、ニュートラやハマトラなど、ファッションの流行も生み出しました。さらには、ビートルズの来日やジーンズやミニスカートの流行など、若者文化が発展した時代の先頭に立ち、牽引してきた世代です。また、**お見合い結婚から恋愛結婚が主流となった世代でもあり、女性がより主体性をもち、自ら選択をしていく人生を歩むようになりました**。若い頃から、あらゆる文化に触れ、自由に好きなファッションを選び、楽しんできた世代が今60代を迎えました。



60代は仕事・家事・子育ても一段落！ 縛りのない自由なファッションを楽しめる

50代はまだ仕事や子育てなどコミュニティを意識して、服装を選ぶ必要があります。しかし60代は、**純粹に自分の“好き”の基準でおしゃれができ、これまでの自分が築いてきたセンスを思い切り楽しめる世代**。子供の手が離れ、経済的にも時間にも余裕ができたことで、美術館や旅行、習い事などお出かけの機会が増えるので、自然とおしゃれにも興味ができます。

リサーチは素敵なお60代を集めた“お茶会”の開催、街でスカウトも！

前例のない60代雑誌なので徹底したリサーチが重要。そのため“お茶会”と称したヒアリングの場を設け、ファッションや美容のお悩みから、**今ご興味のあるものなどをざっくばらんにお話いただいています**。1冊あたり3～4回開催し、今後は読者組織もつくるため、モニタリングや座談会等もより活発になると思います。また他の世代の雑誌とは違い、お電話でご意見をいただくことが多いのも特徴です。その時にはチャンスとばかり読者の方へ洋服はどこで購入しているか、ご興味があることはなにか等、逆質問をしています。外出時は、街中で素敵なお方を見かけた時にはすかさずスカウト。実際に誌面に出ていただくこともあります。

“素敵なおの人”は全国のギャラリーに集結

面白い現象の一つに“ギャラリー”があります。ギャラリーは美術品などの展示もありますが、最近では作家の器やアクセサリーといった生活に根付いたものを個展形式で展示販売しています。**すぐおしゃれなお客様がついてまさに『素敵なおの人』が集まる場所**。現在では、全国各地に名物ギャラリーが存在するので、創刊号からは連載「全国ギャラリーガイド」にて紹介します。